



\\ ここからはじめる! //

化学物質管理

# GHSに対応したラベル表示

## -その1-



# はじめに

「GHS」は、

- ・ 化学品に固有な危険有害性を世界中で同じ基準によって特定すること
  - ・ 危険有害性に関する情報を世界中で同じ手段を使って化学品を取り扱う人に伝えること
- を目的に作られたシステムです。



「GHS」において危険有害性情報の伝達は

- ・ ラベル表示
- ・ SDS（安全データシート）

の2つの手段で行われます。

このスライドでは、「GHSに対応したラベル表示」について解説します。

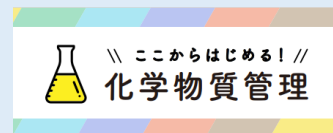
# 学びポイント

- GHSのラベル表示って何？
- 何があるとGHS対応のラベル表示になる？
- ラベル表示を読もう
- ラベル表示の内容はどのように決まるの？
- ラベル表示を活用しよう

「GHSに対応したラベル表示 -その2-」  
で紹介しています。

## ここからはじめる！化学物質管理

- ◆ 「GHSって何？」
- ◆ 「GHS分類の基本」



の

動画はCERIチャンネルからも  
ご覧いただけます。

CERIチャンネル

の後に、このスライドをご覧頂くことをオススメします。

# GHSのラベル表示って何？

GHS分類を行った結果、危険有害性区分が付与された化学品に対して、該当する危険有害性の内容や取扱い上の注意事項を伝えるためにGHSに従ったラベル表示が行われます。

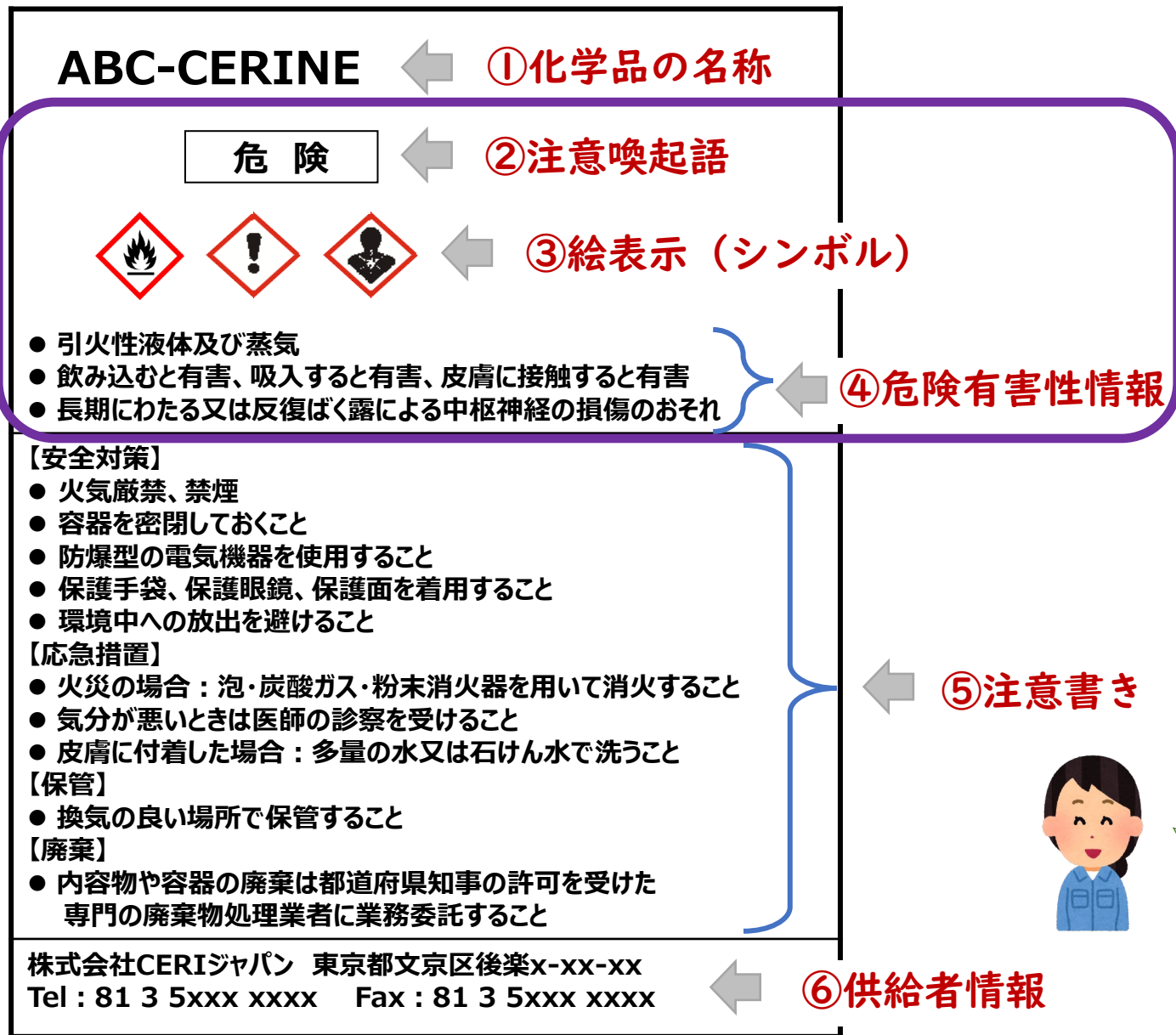
GHSにおける「ラベル」は、危険有害な化学品について危険有害性の種類や程度に関する情報が容器や包装に貼り付けられている、印刷されているもののことです。

GHSでは所管官庁の許可事項として、作業場においてはラベルの情報を個々の容器上に付すのではなく、作業区域内に表示することもできるとされており、このような方法も含めて、危険有害性に関する情報を表示して伝達することを「ラベル表示」と言います。

本スライドではGHSに対応したラベル表示について説明しますが、これに限らず、化学品には様々なラベル表示がされていますので必ず確認しましょう。



# GHS対応のラベル表示の基本構成



GHS対応のラベル表示は左に示す6項目が含まれます。このうち、  
②注意喚起語  
③絵表示  
④危険有害性情報  
は「ラベル要素」と呼ばれています。



「ラベル要素」は危険有害性クラスごとにGHS分類の結果に基づいて割り当てられる絵表示の種類や語句が決まっています。



# 「注意喚起語」を知ろう

**ABC-CERINE**

危険 ← **注意喚起語**

- 引火性液体及び蒸気
- 飲み込むと有害、吸入すると有害、皮膚に接触すると有害
- 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経の損傷のおそれ

**【安全対策】**

- 火気厳禁、禁煙
- 容器を密閉しておくこと
- 防爆型の電気機器を使用すること
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること
- 環境中への放出を避けること

**【応急措置】**

- 火災の場合：泡・炭酸ガス・粉末消火器を用いて消火すること
- 気分が悪いときは医師の診察を受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水又は石けん水で洗うこと

**【保管】**

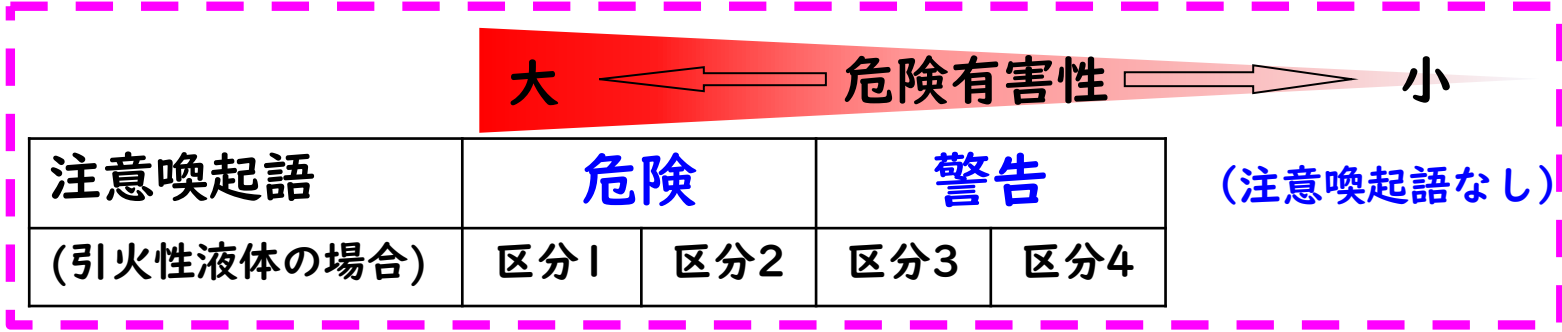
- 換気の良い場所で保管すること

**【廃棄】**

- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

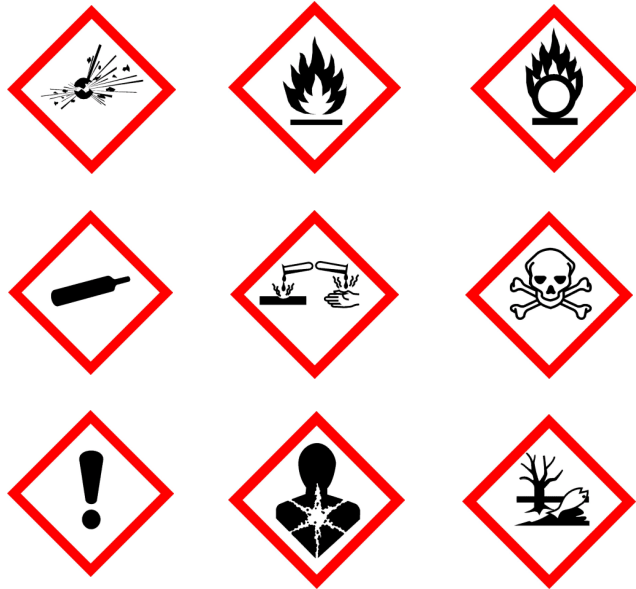
株式会社CERIジャパン 東京都文京区後楽x-xx-xx  
Tel : 81 3 5xxx xxxx Fax : 81 3 5xxx xxxx

「注意喚起語」は化学品の危険有害性の**重大性**を表します。  
 「危険」と「警告」の2種類が設定されており、「危険」の方が重大な危険有害性があることを表します。



1つのラベル表示に「危険」が表示されると「警告」は省略されます。  
 注意喚起語が付かない区分もあります。  
 ラベル表示の「危険有害性情報」もあわせて確認しましょう。

# GHSの「絵表示」を知ろう



「絵表示」は化学品が該当する危険有害性クラスと区分に応じて表示されるマークのことです。  
絵表示を見るとその化学品が示す危険有害性のおおよその種類を知ることができます。



例



- 金属腐食性化学品 区分I
- 皮膚腐食性 区分I
- 眼に対する重篤な損傷性 区分I



複数の危険有害性クラスが同じ絵表示で示される場合や絵表示が付かない区分もあります。  
ラベル表示の「危険有害性情報」もあわせて確認しましょう。

絵表示の種類と対応する危険有害性情報等の一覧はこちらをご覧ください。  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11305000/000683127.pdf>

# 「危険有害性情報」を知ろう



「危険有害性情報」は  
化学品の危険有害性の**性質と程度**を  
端的に表す情報のことです。

**ABC-CERINE**

危険

危険有害性情報

---

- 引火性液体及び蒸気
- 飲み込むと有害、吸入すると有害、皮膚に接触すると有害
- 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経の損傷のおそれ

【安全対策】

- 火気厳禁、禁煙
- 容器を密閉しておくこと
- 防爆型の電気機器を使用すること
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること
- 環境中への放出を避けること

【応急措置】

- 火災の場合：泡・炭酸ガス・粉末消火器を用いて消火すること
- 気分が悪いときは医師の診察を受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水又は石けん水で洗うこと

【保管】

- 換気の良い場所で保管すること

【廃棄】

- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

株式会社CERIジャパン 東京都文京区後楽x-xx-xx  
Tel : 81 3 5xxx xxxx Fax : 81 3 5xxx xxxx

例

**【引火性液体の危険有害性情報】**

区分1	⇒	極めて引火性の高い液体及び蒸気
区分2	⇒	引火性の高い液体及び蒸気
区分3	⇒	引火性液体及び蒸気
区分4	⇒	可燃性液体



# 「注意書き」を知ろう



「注意書き」は化学品の取扱い等において推奨される対策等の注意事項のことです。

**ABC-CERINE**

危険

注意書き

- 引火性液体及び蒸気
- 飲み込むと有害、吸入すると有害、皮膚に接触すると有害
- 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経の損傷のおそれ

【安全対策】

- 火気厳禁、禁煙
- 容器を密閉しておくこと
- 防爆型の電気機器を使用すること
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること
- 環境中への放出を避けること

【応急措置】

- 火災の場合：泡・炭酸ガス・粉末消火器を用いて消火すること
- 気分が悪いときは医師の診察を受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水又は石けん水で洗うこと

【保管】

- 換気の良い場所で保管すること

【廃棄】

- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

株式会社CERIジャパン 東京都文京区後楽x-xx-xx  
Tel : 81 3 5xxx xxxx Fax : 81 3 5xxx xxxx

例

【眼刺激性区分2に分類された場合に示される注意書き】

- 取扱い後は…をよく洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。



「注意書き」も区分された危険有害性クラスごとに割り当てられた推奨される文言を使用できます。

なお、例えば保護具の種類は関連法律等での指定を確認したうえで、化学品の性質等に応じてラベル表示の作成者が文言を選択できます。

他にもGHSにおいて推奨される文言以外の取るべき推奨措置が示されることがあります。

# GHSに対応したラベル表示（その1）をおさらい

- GHS分類を行った結果、危険有害性区分が付与された化学品に対しては「ラベル表示」によって危険有害性に関する情報等を伝達する。
- GHS対応のラベル表示は以下の内容で構成される。

① 化学品の名称

② 注意喚起語

③ 絵表示

④ 危険有害性情報

⑤ 注意書き

⑥ 供給者情報

ラベル要素

- 「ラベル要素」は危険有害性クラスごとにGHS分類の結果に基づいて割り当てられる絵表示の種類や語句が決まっている。

# もっと知りたい方はこちらへ

ここからはじめる！化学物質管理



\\ ここからはじめる！ \\  
化学物質管理

<https://www.cerij.or.jp/chemical-management/>

化学物質の危険有害性情報を得るために  
～GHS分類・ラベル表示・SDS～

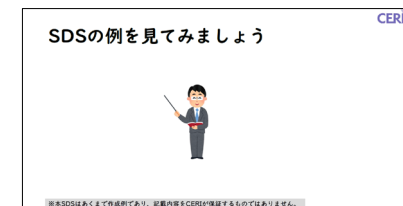
① GHSとは？



② GHS分類の基本



④ SDSとは？



「GHSって何？」「GHS分類の基本」他、各種動画は「CERIチャンネル」もご覧ください。

[https://www.cerij.or.jp/ceri\\_channel/channel\\_detail\\_02.html](https://www.cerij.or.jp/ceri_channel/channel_detail_02.html)

## GHS に対応したラベル表示 -その 1-

スライド	シナリオ
1	<p>「GHS」は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学品に固有な危険有害性を世界中で同じ基準によって特定すること</li> <li>・危険有害性に関する情報を世界中で同じ手段を使って化学品を取り扱う人に伝えることを目的に作られたシステムです。</li> </ul> <p>「GHS」において危険有害性情報の伝達は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラベル表示</li> <li>・SDS（安全データシート）</li> </ul> <p>の 2 つの手段で行われます。</p> <p>このスライドでは、「GHS に対応したラベル表示」について解説します。</p>
2	<p>このスライドでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GHS のラベル表示って何？</li> <li>・ 何があると GHS 対応のラベル表示になる？</li> <li>・ ラベル表示を読もう</li> </ul> <p>このようなポイントで学びましょう。</p> <p>ラベル表示の内容の決め方やラベル表示を活用する方法についてはその 2 でご紹介いたします。</p> <p>また、ここからはじめる！化学物質管理の「GHS って何？」、「GHS 分類の基本」をご覧ください。ただいからこのスライドをお使いいただくことをおすすめします。</p> <p>動画は CERI チャンネルからもご覧いただけます。</p>
3	<p>GHS 分類を行った結果、危険有害性区分が付与された化学品に対して、該当する危険有害性の内容や取扱い上の注意事項を伝えるために GHS に従ったラベル表示が行われます。</p> <p>GHS における「ラベル」は、危険有害な化学品について危険有害性の種類や程度に関する情報が容器や包装に貼り付けられている、あるいは印刷されているもののことです。</p> <p>一方、GHS では所管官庁の許可事項として、作業場においてはラベルの情報を個々の容器上に付すのではなく、作業区域内に表示することもできるとされており、このような方法も含めて、危険有害性に関する情報を表示することを「ラベル表示」と言います。</p> <p>本スライドでは GHS に対応したラベル表示を説明していますが、これに限らず、化学品には様々なラベル表示がされていますので必ず確認しましょう。</p>

スライド	シナリオ
4	<p>GHS 対応のラベル表示は、左の例に示すように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学品の名称</li> <li>・ 注意喚起語</li> <li>・ 絵表示 (シンボル)</li> <li>・ 危険有害性情報</li> <li>・ 注意書き</li> <li>・ 供給者情報</li> </ul> <p>の 6 つの項目が含まれます。</p> <p>このうち、注意喚起語、絵表示、危険有害性情報の 3 つの項目のことをラベル要素といい、これらの内容は GHS で統一されています。</p> <p>「ラベル要素」は危険有害性クラスごとに GHS 分類の結果に基づいて割り当てられる絵表示の種類や語句が決まっています。</p>
5	<p>ラベル要素のうち、「注意喚起語」について見てみましょう。</p> <p>「注意喚起語」は化学品の危険有害性の重大性を表します。</p> <p>「危険」と「警告」の 2 種類が設定されており、下のピンクの枠の図に示すように、「危険」の方が重大な危険有害性があることを表します。</p> <p>1 つのラベル表示に「危険」が表示されると「警告」は省略されます。</p> <p>注意喚起語が付かない区分もあります。</p> <p>ラベル表示の「危険有害性情報」もあわせて確認しましょう。</p>
6	<p>GHS の「絵表示」は化学品が該当する危険有害性クラスと区分に応じて表示されるマークのことです。</p> <p>全部で 9 種類あります。</p> <p>絵表示を見るとその化学品が示す危険有害性のおおよその種類を知ることができます。</p> <p>下のピンク枠に示す「とける・やけどする」のマークは、金属腐食性化学品や皮膚腐食性に区分されたときに表示されます。</p> <p>GHS では、複数の危険有害性クラスが同じ絵表示で示される場合や絵表示が付かない区分もあります。</p> <p>ラベル表示の「危険有害性情報」もあわせて確認しましょう。</p> <p>なお、絵表示の種類と対応する危険有害性情報等の一覧はこちらをご覧ください。</p>
7	<p>ラベルに示される「危険有害性情報」は化学品の危険有害性の性質と程度を端的に表す情報のことです。</p> <p>例として、引火性液体の危険有害性情報を示します。</p> <p>このように危険有害性の性質を示し、区分によってその程度もわかる表現になっています。</p>

スライド	シナリオ
8	<p>「注意書き」は化学品の取扱い等において推奨される対策等の注意事項のことです。</p> <p>下のピンク枠には眼刺激性区分 2 に分類された場合の注意書きを示します。</p> <p>「注意書き」についても分類の結果、区分された危険有害性クラスごとに割り当てられた推奨される文言を使用できます。</p> <p>なお、例えば保護具の種類は関連法律等での指定を確認したうえで、化学品の性質等に応じてラベル表示の作成者が選択できる等、注意書きの記載には多少の自由度があります。</p> <p>他にも GHS において推奨される文言以外の取るべき推奨措置が示されることがあります。</p>
9	<p>GHS に対応したラベル表示・その 1 をおさらいします。</p> <p>GHS 分類を行った結果、危険有害性区分が付与された化学品に対しては「ラベル表示」によって危険有害性に関する情報等を伝達します。</p> <p>GHS 対応のラベル表示は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学品の名称</li> <li>・ 注意喚起語</li> <li>・ 絵表示</li> <li>・ 危険有害性情報</li> <li>・ 注意書き</li> <li>・ 供給者情報</li> </ul> <p>の 6 項目で構成され、注意喚起語、絵表示、危険有害性情報の 3 つは「ラベル要素」と呼ばれます。</p> <p>「ラベル要素」は危険有害性クラスごとに GHS 分類の結果に基づいて割り当てられる絵表示の種類や語句が決まっています。</p>
10	<p>GHS についてもっと知りたい方は「ここからはじめる！化学物質管理」の GHS のページ、各種動画は CERI チャンネルもご覧ください。</p>